

会社も元氣・心も元氣・体も元氣

～人生・仕事の結果の算式～

今月は、京セラ株式会社、京セラフィロソフィーの一つを、ご紹介いたします。京セラフィロソフィーとは、稲盛和夫氏が、永年にわたり、社員に発信した言葉を文章化したものです。

「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」

人生や仕事の結果は、考え方と熱意と能力の3つの要素の掛け算で決まります。この算式は掛け算であり、足し算でないところが、重要なポイントです。また、算式の順番として、考え方が一番で、続いて、熱意・能力となります。

このうち、能力と熱意は、それぞれ0点から100点までであり、これが積で掛かるので、能力を鼻にかけ、努力を怠った人よりは、自分には普通の能力しかないと、誰よりも努力した人の方が、はるかに、すばらしい結果を残すことが出来ます。これに、考え方が掛かります。考え方とは、生きる姿勢であり、マイナス100点からプラス100点まであります。考え次第で、人生や仕事の結果は、180度変わってくるのです。そこで、能力や熱意とともに、人間として正しい考え方を持つことが、何よりも大切になるのです。

ここで、最も重要な「考え方」は、「人生を歩いていくための方向」みたいなものだと、考えればいいでしょう。これは、東西南北というような全方向を言うのではなく、水平線の方向のことを言い、ゼロを基点にして、こちらに100、その反対側に100、というような方向です。人生、どっちへ向かって歩いてもいいと考えられるかもしれませんが、そうではなく、人生の方向というのは一直線になっていて、プラスに向いて歩くか、マイナスに向いて歩くかという、単純な二方向しかないのです。プラ

スの方向とは、「良い心」なのです。「良い心」の、哲学者などの定義はありませんが、稲盛氏が考える「良い心」は、まず、常に前向きで、建設的であること。みんなと一緒に、仕事をしようとする協調性を持っていること。明るいこと。肯定的であること。善意に満ちていること。思いやりがあつて、優しいこと。真面目で、正直で、謙虚で、努力家であること。利己的ではなく、強欲ではないこと。「足る」を知っていること。そして、感謝の心を持っていることなどをいいます。「悪い心」とは、「良い心」の対極にくるものです。「人生・仕事の結果」は、すぐに出るものではありませんが、この算式を意識して事に臨めば、良い結果が、必ず生まれるのではないのでしょうか…。考えさせられる奥深い算式ですね…。

皆様、一年間お愛読頂きまして、誠にありがとうございます。今回で、このコーナーは最終回になりますが、今までの文章などに関するご質問は、お気軽にご連絡願います。

「会社も元氣・心も元氣・体も元氣」のタイトルのように、皆様の会社や皆様ご自身が、これからも益々元氣でいらっしゃることを、心よりお祈り申し上げます。

参考文献：機関誌「『盛和塾』通巻32号(増刊号)」35頁～43頁、盛和塾発行、1999年。



三宅税理士事務所

財務コンサルタント
経営学修士(MBA)

所長税理士 三宅孝治

〒710-0803 倉敷市中島2370-14

TEL:086-466-1255

<http://www.cms-miyake.info>